

てらこや

平成30年
7月26日(木)
大智院

おやくそく

- 一、 明るいあいさつ げんきなへんじ
- 二、 きたときよりも うつくしく
- 三、 よくかんがえ すすんでまなぶ

※小枝遊びの達人※

小枝遊びの達人・名畑みのるさんが作り出す、



昭和初期のジオラマの世界を見学しました。部屋一面に並べられたミニチュアは、名畑さんの幼少期、六〇年くらい前の生活の風景を素材を利用し、一つ一つ手作りで作り上げたものです。それぞれに実際使われていたと同じような仕掛けがあり、子どもたちは手に取って体感することができました。博物館では味わうことのできない貴重な体験をしました。

※大きく育て子どもたち※

高学年の子どもたちが、方丈様の指導を受けて、小さな仲間たちのお世話を少しずつやり始めています。優しく接してもらった低学年の子どもたちは笑顔いっぱいです。誰も見ていなくてもトイレのスリッパを全てそろえている子、そんな姿も見受けられるようになりました。異年齢小集団で活動するてらこやでは、嫌がらず、笑顔でそつと気を配れるような、心遣いのできる子になってほしいと願っています。また、今日は、日本福祉大学の学生さんがてらこやにボランティアとして参加しました。大きいお兄さん、お姉さんたちのパワーをもらい元気に活動することができました。たった一日ですが、出会いはかけがえのないものです。「ありがとう」大きな声で感謝の気持ちを伝えることができました。明日も子どもたちの成長を楽しみたい



※方丈様のおはなし 全4話※

『一了人共『生きる知恵を学びあう』④』

親子で、あるいは親同士で、異年齢の小集団活動を通して子育てに自信をつける場、肩のこらない自由でのびのびとした草の根活動の場が寺子屋と思います。今後ますます、先祖からいただいた命を大切に仲良く生きる”という原点を育む交流の輪が、広がりますよう期待したくご支援ご協力をお願いいたします。 合掌

※今日の感想※

☆家の中がお風呂とかトイレがあつてちゃんとしてあつてすごかった。 三年 平野佑輝也

☆昔の道具や自然の物を使い上手に再現していて凄いなと思った。小さなもので昔の道具や遊びを学ぶ事ができる良い機会だった。 大学一年生 カメマン

☆なかなか子ども相手に接することがなく若干緊張していたが、子ども達はそんなことを吹き飛ばすほど元気で自分も楽しくできた。 大学一年生 植木 涼馬

※お知らせ※

☆てらこやの様子が放映されます。

知多メディアス・エリアニュース
七月二十七日(金) 十七時から

今日の参加者

子ども 八十七人
大人 十二人

明日27日
お迎え時間
11時
お願いいたします。

明日七月二十七日(金)の持ち物

○筆記用具・夏休みの友や課題
ぞうきん一枚 ハンカチ ティッシュ

◎官製はがき一枚・色鉛筆